

京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています



市民の生活を守り抜く!

平成22年度京都市予算が成立

公明党京都市会議員団、市民の目線で論戦

市民生活に身近な政策が実現

「生活安心、未来へのトライ」と名づけられた予算。市民のくらしを守るため、公明党京都市会議員団は、「市民の目線」で論戦を展開しました。

介護施設助成、学校耐震化、保育サービス充実

が実現し、DV相談支援センター新設や3人乗り自転車レンタル、女性特有のがん検診無料クーポン券配布など、公明党市

会議員団が代表質問等で訴えてきた施策も正式に決定。

また、中小企業融資支援や雇用創出も拡大。太

陽光発電や電気自動車などの次世代環境政策を促進するなか、中期の経済回復への道筋を切り開きました。

新たな価値を創造する政策実現力

「食の安心安全条例」が策定され、「地域コミュニティ条例」「地球温暖化対策条例」も大きく前進。「政策実現力」を発揮しました。

市バス・地下鉄経営健全化計画や市立病院改革についても、京都市財政危機を克服するために誠意をこめて議論を展開。安心の未来へ、希望をもってスタートするため、これからは「大衆とともに」の精神で前進してまいります。



新たな出発への決意みなぎる市会議員団



門川市長に予算要望(平成21年11月26日)

平成22年度予算における主な施策・事業

1. 市民のいのちと暮らし、安心安全を支える施策並びに中小企業、地場産業の支援

- 保育サービスの充実
- 放課後の子どもたちの居場所づくり
- 幼児二人同乗用自転車貸出事業(3人乗り自転車レンタル)
- 低所得の障がい者の係る障がい福祉サービスの無料化(原則1割→無料)
- 介護保険基盤整備助成
(特養・小規模特養8カ所[新規7カ所、継続1カ所]
小規模多機能型居宅介護拠点2カ所
小規模老人保健施設1カ所
認知症高齢者グループホーム2カ所)
- 学校施設の全棟耐震化(統合計画など特別の事情のある学校を除く)
- DV相談支援センターの設置(平成23年度開設に向けた準備)
- 女性特有のがん検診無料クーポン券配布
- 中小企業融資制度預託金 新規融資枠拡大
(平成20年度予算1,500億円→22年度予算2,200億円)
- 雇用創出事業(ふるさと雇用7事業、緊急雇用33事業、実雇用者数662人)



2. 環境モデル都市として、我が国・世界を牽引する地球温暖化対策、低炭素社会の構築に資する施策

- 地球温暖化対策条例の改正及び新計画の策定
- 平成の京町家普及・促進事業(モデル住宅展示場整備、住宅建設への助成)
- 事業ごみ及び業者収集マンションごみの資源化対策(業者収集ごみの分別排出の義務化など)
- 太陽光発電普及促進事業(集会所等公益施設への助成対象拡大など予算倍増)
- 次世代自動車普及促進事業(市民向けカーシェアリングの拡充など 市民利用機会4回/週→78回/週)

3. 人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現と地下鉄・市バスの利用促進に寄与する施策

- 「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進
- 京都駅南口駅前広場の整備(整備計画策定、測量など)
- 「歩いて楽しいまち・京都」観光案内標識アップグレードプロジェクト

4. 未来の京都への先行投資、京都の新たな魅力を創出する施策

- 岡崎地域活性化ビジョン及び京都公会館再整備基本計画の策定
- 無電柱化事業(上七軒通、清水坂、上賀茂神社周辺、宝ヶ池通)
- 進化する新景観政策推進事業(デザイン基準の充実、CGシミュレーションシステム構築など)
- 新「京都市動物園構想」の推進
- 中小・ベンチャー企業成長戦略支援事業(新技術の導入調査、試作品の開発など)



ひ お き ふ み あ き
日置文章議員「北区」

**財政構造改革を
すすめよ**

日置文章議員は、財政構造改革のため、平成22年度予算編成において、一般会計はじめ全事業につ

いてきめ細かく内容を検討すべきと主張。

門川市長は、学識経験者など専門家からなる

「京都市財政改革有識者会議」の設置を含め、全会計の総点検を行うと確約しました。



**予算編成
過程の
透明化を**

また、予算編成の過程が不透明であると指摘。市民理解を深める取り組みを訴え、市長から「廃止・縮小や効率化等により見

外郭団体の改革を

市民感覚を重視し、外郭団体の代表者や役員に市職員OBが多い現状を改革すべきと求め、市側も前向きに取り組むと確約しました。

日置文章議員のおもな質問項目

- 財政構造改革について
- 予算編成過程の透明化について
- COP15関連事業について
- 外郭団体の改革について
- エネルギー政策の推進について

直した事務事業の効果をホームページ等に掲載する「など、具体的な答弁を勝ち取りました。

代表質問

市民の目線で

京都市会定例会本会議の代表質問で、公明党市会議員団が市民目線の政策を提言。平成21年11月議会では、12月1日に日置文章議員(北区)と曾我修議員(伏見区)が、平成22年2月議会では2月24日に大道義知議員(南区)と柴田章喜議員(左京区)そして井上教子議員(下京区)が質問に立ちました。



そ が お が わ ら
曾我修議員「伏見区」

**子ども・若者育成
支援について**

曾我修議員は、「子ども・若者育成支援推進法」施行に当たって、きめ細かな取り組みを質したのに対し、門川市長は、「子ども・若者総合支援プロジェクトチーム」や「子ども



嵐山における鉄道事業者との協働による案内誘導看板の設置(平成21年11月)

曾我修議員のおもな質問項目

- 子ども・若者育成支援について
- 児童養護施設退所後における相談体制の充実について
- 観光案内標識の整備について
- 子どもの携帯電話利用について

若者支援地域協議会など、具体的施策を約束しました。

**観光案内標識
整備について**

きょうかん(共汗)と融合の理念のもと、観光客の視点に立った観光案内標識の整備を訴えました。副市長から、プロジェクトチームを発足して迅速に検討し、早急に実現すると確約がありました。

**子どもの携帯電話
使用について**

子どもたちの携帯電話利用について、危険性と依

存性の問題を強く受け止め、子どもたちの未来を見据えた対策を求め、教育長から「家庭のルールづくり推進」「市民インスト

ラクターの養成」「親としての自覚を高めるきっかけを支援するプログラム策定」などの施策が発表されました。

平成22年第1回市会定例会 意見書・決議

件名	提出会派	会派名					件名	提出会派	会派名			
		公明党	自民党	共産党	民主・都				公明党	自民党	共産党	民主・都
「京町家」再生等を可能とする建築基準法の整備に関する意見書	全会派	○	○	○	○	意見書	平成23年度以降の子ども手当財源の地方負担に対する意見書	自民公明	○	○	×	○
児童虐待を防止するための親権制限を求める意見書	全会派	○	○	○	○		教員免許更新制の存続を求める意見書	自民公明	○	○	×	×
国民の政治への信頼回復のため、国会の自浄能力発揮と政治的・道義的責任の追及を求める意見書	自民共産公明	○	○	○	×		新成長戦略とその財政展望の明示を求める意見書	自民公明	○	○	×	×
政治への信頼回復に向けた政治資金規正法の改正等を求める意見書	民主・都	×	×	×	○		永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書	自民	×	○	×	×
介護保険制度の改善を求める意見書	自民民主・都公明	○	○	○	○		選択的夫婦別姓法案提出について慎重な対応を求める意見書	自民	×	○	×	×
幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書	自民民主・都公明	○	○	×	○		決議	「歩くまち・京都」憲章を積極的に推進する決議	全会派	○	○	○
国民健康保険制度の抜本的改革と財政措置の拡充を求める意見書	自民民主・都公明	○	○	×	○	民間保育園プール制・新制度の円滑な施行を求める決議		自民民主・都公明	○	○	×	○
若者の雇用創出と新卒者支援の充実を求める意見書	自民公明	○	○	○	○	民間保育園プール制・新制度の4月実施見送りを求める決議		共産	×	×	○	×



だいでう よしとむ
大道義知議員「南区」

活字文化振興と
若者の読書力向上について

大道義知議員は、国民読書年を契機にした文字活字文化の振興と、若者の読書力向上について具体的施策を推進し、活字文化振興の人材育成策をはかるべきと主張。門川市長は積極的に進めると答弁しました。

食の安全安心条例施行と
市民会議設置について

また、「食の安全安心条例」の施行にあわせ、消費者行政推進のため、市民



の声を重視する体制を強化すべきと論じました。市長から、市民や観光旅行者のいのちと健康を守る「食の安全安心推進市民会議」を設置し、市民が主役の施策の推進に努めると答弁がありました。

「コミュニティ活性化の
条例の制定について

地域コミュニティ活性化のため、地域の自主的なまちづくり活動を推進する「コミュニティ条例」制定を求め、市長は早期の制定を約束しました。

大道義知議員のおもな質問項目

- 新年度予算編成における政権交代の影響について
- 財政健全化のための市債発行について
- 食の安全安心条例施行と市民会議設置について
- 活字文化振興と若者の読書力向上について
- コミュニティ活性化の条例の制定について
- 進化する景観政策について
- 戸籍等の入手にかかわる本人通知制度の導入について



いのうえ のりこ
井上教子議員「下京区」



日本女性会議
2010きょうと

井上教子議員は、青少年に男女共同参画への意識を高めるため、行政に新しい発想の工夫を求めました。門川市長は、ワークライフバランスの観点から、青少年活動センターや大学、企業に対して積極的なPRを確約。

DV相談支援に
ついて

次に、DV相談支援センター(平成23年度開設予定)の機能強化のため、市職員OBなどをコーディネーターとして配置し、ボランティアの活用を提

井上教子議員のおもな質問項目

- 「日本女性会議2010きょうと」について
- 保健所と福祉事業所の連携強化について
- DV相談支援について
- 子どもを共に育む親支援プログラムについて
- 「子どもを共に育む京都市民憲章」の条例化について
- 梅小路公園の再整備について

起。DV被害者へのきめ細かな支援推進が期待できるものとなりました。

梅小路公園の
再整備について

最後に、梅小路公園の再整備を起爆剤に、全庁挙げて歩くまちの振興や商店街の振興、観光振興などの地域活性化に全力で取り組むべきと論じ、市長から、都市経営を推進していく上で重要な試金石になると認識しており、今後も全庁挙げて取り組んで行くとの決意が表明されました。



しばた あきよし
柴田章喜議員「左京区」

介護保険事業に
ついて

柴田章喜議員は、施設入所希望者の待機解消に向けての積極的な取組と、在宅介護支援の更なる強化を求めました。保健福祉局長より、「京都市民長寿すこやかプラン」に基づいた介護基盤の整備を着実に推進していくと答弁がありました。

市バスおよび地下鉄
経営健全化について

次に、京都市財政危機克服の試金石である交通事業の経営健全化計画について、市長の断固たる決意を求めたところ、門川



市長から「5万人の増客をなんとかしても達成し、地下鉄、市バス事業の利便性とサービスの向上に徹底して取り組む」との答弁がありました。

自殺対策について

また、自殺を未然に防ぐために、適切な処置を講じる体制作りなど、具体的な支援を求めました。市長から、新年度予算案で自殺対策に関する予算を大幅に増額して計上するほか、市民サポーターや民間団体の取組と連携し、全庁挙げて対策を講じていくとの確約がありました。

柴田章喜議員のおもな質問項目

- 若者の雇用支援について
- 自殺対策について
- 介護保険事業について
- 岡崎地域活性化及び京都都会館再整備について
- 地球温暖化対策について
- 市バス及び地下鉄経営健全化について

Report!

市長総括質疑
レポート

平成22年度の京都市予算を審査する予算委員会、代表の議員が門川市長と二問一答の質疑をおこないました。

公営企業特別委員会
3月8日

- 日置文章議員(北区)
- 市バス・地下鉄事業経営健全化計画に、市民の声を反映させる仕組みの構築を主張。
- 柴田章喜議員(左京区)
- 病院事業の独立行政法人化に際し、柔軟な運営と感染症医療など市民の安心確保を主張。
- 吉田孝雄議員(上京区)
- 地下鉄5万人増客のため、市民ぐるみでアイデアを募集し、情報公開の促進を提案。
- 平山賀一議員(西京区)
- 地下鉄再建や病院の独法化で市民サービスの水準が下がらないよう求めた。

普通予算特別委員会
3月10日

- 谷口弘昌議員(伏見区)
- 不祥事や予算編成について指摘し、市民本位のために行政の意識改善を要求。
- 曾我 修議員(伏見区)
- 歩くまち市民憲章の周知徹底と、総合交通戦略プロジェクト推進を求める。
- 久保勝信議員(山科区)
- ごみ有料指定袋の財源を有効利用し、20ℓ袋の活用を価格誘導などの提案。
- 木村 力議員(中京区)
- 自転車利用者のマナー向上について、府とも連携して、事業継続と発展を提案。

介護総点検活動に全力!

公明党京都市議員団は、11月から1月にかけて、市内の介護施設や在宅介護のお宅を訪れ、介護現場の実態をくわしく取材しました。

1月に訪問した特別養護老人ホームでは、介護施設の看護の重要性や職員の配置基準など、熱心な声を頂戴するとともに、実り多い意見を交換。

街頭アンケートや訪問意識調査活動でも、誰もが避けて通れない「介護」について、生の声をお聞きしました。

京都からの報告書を受け、公明党の山口代表は『新・介護公明ビジョン』をとりまとめ、鳩山首相に現場の声を届けました。



中京区

木村 力
きむら りき

①2期 ②経済総務委員会

左京区

柴田 章喜
しばた あきよし

①4期②交通水道委員会③副団長

上京区

吉田 孝雄
よしだ たかお

①1期②教育福祉委員会③政調副会長

北区

日置 文章
ひおき ふみあき

①5期 ②経済総務委員会

右京区

湯浅 光彦
ゆあさ みつひこ

①2期②まちづくり消防委員会③政調会長

南区

大道 義知
だいどう よしとも

①5期 ②交通水道委員会 ③団長

下京区

井上 教子
いのうえ のりこ

①3期②まちづくり消防委員会③副団長

山科区

久保 勝信
くぼ かつのぶ

①2期②交通水道委員会③幹事

伏見区

津田 早苗
つだ さなえ

①2期②くらし環境委員会③政調副会長

伏見区

曾我 修
そが おさむ

①2期 ②交通水道委員会 ③幹事

伏見区

谷口 弘昌
たにくち ひろまさ

①5期②教育福祉委員会③代表幹事

西京区

平山 賀一
ひらやま よしかず

①1期②くらし環境委員会③政調事務局長

公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

● TEL:075(661)3755 ● FAX:075(661)5855

● 電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

● TEL: 075(222)3732

● FAX: 075(212)3608

● ホームページ:

